

特色ある大学院教育の紹介

本学府は平成 19 年度に文部科学省の大学院教育改革支援プログラム「ラボ・ボーダレス大学院教育の構築と展開」をスタートさせ、以下のような 8 つの特色ある大学院教育を柱としています。

① 研究概論（関連分野の幅広い基礎知識）
化学系，機械系，生物系，情報系など，各教員が専門分野をわかりやすく説明した教科書を作成し，それを使って，関連分野の幅広い基礎知識を学びます。
② 基礎技術演習Ⅰ（安全・危機管理能力）
化学系，機械系，生物系，情報系など，多様な技術分野の安全教育を行います。また，インターネット社会で役立つ安全・危機管理，情報倫理を学びます。
③ 基礎技術演習Ⅱ（関連分野の幅広い専門技術）
自分の研究分野とは異なる分野の教員の研究室で，少人数で最先端の専門技術を学びます。ティーチングアシスタント(TA)やリサーチアシスタント(RA)として教育する経験もします。
④ 実践発表（コミュニケーション能力）
わかりやすいパワーポイントの作成法や，質疑応答の仕方など，異分野の研究者にもわかる発表法を学びます。実際に作成した資料を使って発表会を行い，学生相互で評価します。
⑤ 実践英語発表（英語コミュニケーション能力）
関連する複数の教員および PTAP（Publication Technical Assistant Professor）の指導のもとに模擬国際会議を開催し，英語での講演，質疑応答の仕方を学びます。
⑥ アドバンスト科目（関連分野の幅広い専門知識）
学外の非常勤講師にお願いして，化学系，機械系，生物系，情報系など，多様な最先端の専門知識を専任教員以外からも学びます。15 テーマから 3 または 6 または 9 テーマを選びます。
⑦ アントレプレナー科目（社会で活躍するための知識）
実践している学外の非常勤講師から，ベンチャービジネスなど社会における企業活動，研究活動に必要な知識として，会計学，特許法，国際規格を学びます。
⑧ PTAP 制度（英文要旨，英語論文の添削）
研究成果を英語で発表できるように，大学を退職された英語の達人から，修士論文の英文要旨の添削，投稿する学術論文の添削，博士論文の英文要旨の添削などの指導を受けます。